

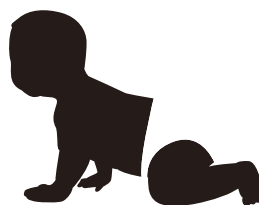
全国保育問題研究協議会

第32回夏季 セミナー

いま求められる

身体づくり—運動

の実践を考える



身体づくりが初めて全国保問研の分科会テーマとして誕生したのは1978年。発足の直接的動機は子どもの身体のおかしさへの危惧にありました。その後、身体づくり分科会は、乳幼児の健康・身体の問題についてより実践課題を明確にして討議を深めていく必要性を認識し、1992年から「運動」と「食」の2つの分科会に発展的に分かれ、今日に至っています。

現在、子どもたちの身体はどうなっているでしょうか。身体のおかしさが指摘され始めた世代は、今や親となり保育者となり子育て、保育をしています。よほど意識的に観察しないと子どもの身体のおかしさも見えにくくなってきていると考えられます。また、「転んでも手が出ない」「すぐ疲れたと言う」「手が不器用」など、どちらかと言うと幼児クラスで言われていた身体の問題も、「抱きにくい」「身体がかたい」「ハイハイしようとしない」など、〇歳児クラスから語られるようになってきました。今、よりていねいな身体づくりの実践が求められていると言えるでしょう。

しかしながら、身体づくりをどう考えるのかによっては、かえって「運動」嫌いを生み出したり、安心の場である園生活が、緊張・負担の場に変わる危険性もあります。子どもの発達に即した教材・教具の研究や保育にふさわしい指導のあり方を深めていくためにも、身体づくりをどう考えるのかについて、あらためて議論する必要があります。

「運動」をテーマに開催される夏季セミナーは、「食」と「運動」の合同で行われた第10回（1993）以来、単独としては初の開催となります。規制緩和・詰め込み保育の拡大等により、ますます子どもが思いっきり身体を動かして遊べる環境、安全に生活できる環境が貧しくさせられようとしている今日、保問研の知恵と力を結集し、「いま、求められる「身体づくり—運動」の実践」を考えることは大切です。

今回は全国集会にはない「実技」の企画もあります。運動の苦手な人こそ大歓迎。ぜひご参加ください！

2015年8月22日(土) 12:00 受付

23日(日) 12:15 まで

京都女子大学にて

(京都市東山区今熊野北日吉町35)

1日目：B校舎501・2日目：U校舎

申込締め切り日

2015年

8月14日(金)

定員 200名

(定員になり次第締め切ります)



参加費 7000円・学生3500円

1日目

8月22日(土)

◇ 開場・受付開始		12:00
◇ オープニング	なわあそび 京都保問研有志	12:45
◇ 開会あいさつ	全国保育問題研究協議会 常任委員会	
◇ 基調報告	上月 智晴(京都保問研)	13:00

◇ シンポジウム	— いま求められる「身体づくり-運動」の実践を考える —	
	コーディネーター 横井 喜彦(愛知保問研)	13:30 ~ 17:20

実践①

卒園期 - 6歳のちから

くわの実保育園
永井 三千代
(北埼玉保問研)

卒園期、子ども達は自ら意欲的にコマ回し・側転・縄跳び・竹馬と練習に励みます。コマ回しや跳び箱では、まわりの子どもたちが言葉で伝える姿がありました。竹馬も、なんでもこなして来た子が苦戦する反面、地道な努力を重ねて来た子が転んでも練習して、いち早く乗れるようになるなど、この教材を卒園期の教材に選んで良かったと思いました。6歳の賢さ、集中力を出し切った卒園式。できなかった事に挑戦してできるようになるという事は、子どもの心と身体、知的発達にどのような変化をもたらすのでしょうか。皆さんと学び合いたいです。

実践②

子どもと楽しみ つくりあげた しっぽとり

よどっこ保育園
和田 優香
(大阪保問研)

4歳児クラス、20人の子どもたちと楽しんだしっぽとりの実践です。みんなで遊ぶことをなかなか実現できず、周りの先生に支えてもらいながら向かってきた実践でもあります。

一緒に楽しんでいくこと、環境面の視点、仲間同士との関わり、子どもたちが楽しんで向かえるための振り返りをしていくなかで、学んだことやしっぽ取りの面白さについて提案します。5歳児クラスになってからの子どもたちの姿や取り組みも含めてお伝えします。

実践③

手ばなし散歩に取り組んで

洛西保育園
市川 直子
(京都保問研)

散歩に出かける時には安全のために手をつなぐのが当然のことだと思っていました。しかし「集まるまでに30分かかる」「手をつなぐ相手を巡ってけんかになる」というクラスを担当した時、「自分で気をつけて歩くように」と言って、思いきって手離しの散歩を実践してみたところ、歩くことがとても楽しくなったのでした。

今提案では、この数年間取り組んできた幼児クラスの散歩の実践を振り返り、保育・身体づくりにおける散歩の重要性とその課題について考えられたらと思います。

実践④

1歳児クラスの巧技台活動

桜田保育園
鳩貝 淳
(東京保問研)

0歳児クラスでは、赤ちゃん体操や小さな段差、斜面などから始め、巧技台活動を取り入れていきました。その中で気になったのは『つま先を上手く使えない姿』でした。1歳児クラスでは引き続き足の指先までしっかりと動かせるように、部屋やホールで斜面を必ず取り入れた設定を続け、保育者と身体の使い方を伝えていきました。そういった活動の積み重ねや散歩などの遊びの中で育っていった子どもたちの姿を報告しながら、この時期に大切な環境づくりや援助等について考えたいと思います。

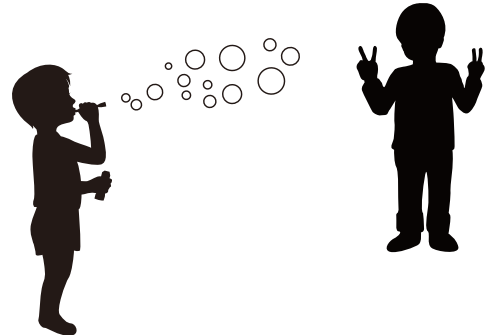
実践⑤

心を耕す保育 ～大切にしたい乳児の 身体づくりと健康教育

おさなご保育園
山口 千恵子
(兵庫保問研)

1990～おさなご保育園では、全園児の健康管理を看護師が受け持ちながら乳児保育担当を兼任してきました。

0歳児保育の身体づくりは、発達を促す手づくりおもちゃや教具、ベビーマッサージ、赤ちゃん体操などにこだわっています。また、主体的に子ども自身が身体づくりにとりくめるように年齢別健康教育をおこなっています。身体づくりの文化の伝承をみなさんと共有できたらと思います。



◇ 2日目にむけての連絡	17:20
◇ 終了	17:30

2 8月23(日) 日目

◇ 分散会

9:00~11:30

2日目は、5つの分散会に分かれ、セミナーのテーマでもある「いま求められる身体づくりー運動の実践」を深めます。「講義形式」の分散会2つと、「実技形式」の分散会3つを設けました。関心のある分散会を選んでご参加ください。なお分散会①~④では、1日目の実践報告についての討議時間を設ける予定です。

① 乳児の身体づくりを考える

講演

1日目の兵庫・東京の実践を聴いて、そこから学べるものは何かということから、話し合いたと思います。この二つの実践では、どちらも乳児クラスの中で発達を促すために必要な運動をどう保障するのか、運動を通して何を育てるのが提起されています。そして、保育者が触れあいながら促す運動と、環境設定から生み出される運動という二つの側面から、運動を取り上げています。みなさんからも自分たちの実践を出し合いながら、乳児期に必要な運動とは何か、そして新制度が始まっている今、どんな条件が必要なのかということまで掘り起こしていけたらと思っています。

中京学院大学
横井喜彦
(愛知保問研)

② 幼児の身体づくりを考える

講演

乳児期に獲得した二足歩行をベースに、走る・跳ぶ・投げるなど、多様な動作のレパートリーを身に付け、動きが巧みになってくる幼児期。一方、「できる・できない」も理解しはじめ、尻込みする姿が見られるのもこの時期の特徴。どのような運動文化にどのように取り組むのか、が重要となってきます。本講座では、1日目の京都・北埼玉保問研の実践検討の時間も設けながら、時間の許す限りさまざまな運動実践を取り上げ、みなさんと一緒に幼児の身体づくりや運動あそびの指導について考えていきたいと思います。

京都女子大学
上月智晴
(京都保問研)

③ 保育で行える赤ちゃん体操&ベビーマッサージ+ 保育者のための健康ストレッチ

実技(定員30名)

おさなご保育園
山口千恵子
(兵庫保問研)

桜田保育園
佐々木雄大
(東京保問研)

◎お父さん・お母さん・保育者など、育児が楽しくなります。なによりも、赤ちゃんとの信頼関係が深まり、しなやかなこころ・体の発達を促すことができます。赤ちゃん体操の前段階に行うベビーマッサージを中心に赤ちゃん体操について一緒に学び、乳児保育・障害児保育・地域開放子育て支援の場でも活用しましょう。



◎私たちは、かわいい子どもが身近にいて笑顔をプレゼントしてくれる素晴らしい仕事をしていますよね。しかし、身体が疲れている方、ひざや腰に痛みを抱えている方が多いのも事実です。長い間健康に働き続けるために、心身のリフレッシュのために、身体に無理のないストレッチを参加者みなさんと楽しみましょう！

④ しっぽとりの実践をもとにして

実技(定員30名)

よどっこ保育園
和田優香
(大阪保問研)

大阪健康福祉短期大学
塩田桃子
(大阪保問研)

しっぽとりの実践報告をもとに、実際に身体を動かしながら行います。単に身体をつくるために取り組むのではなく、人とつながること、人とかかわる力をしっかりと育てるために取り組みたいものです。そのために、しっぽとりのおもしろさは何か？しっぽとりで何が教えらそうか？みなで考えあいたいと思います。また、しっぽづくりや、しっぽとりの系統的な指導について、実技を通して学びあい、確かめたいと思います。

⑤ 友だちと 仲良くなるう なわとびで

実技(定員30名)

跳び縄はおそらく多くの園で、幼児の運動教具として用いられていると思いますが、その多くは「回数」や「速さ」を競ったり、特定の技を「クリアー」していくような遊び方になっているのではないのでしょうか？本講座では、単に技の習得を目的とするのではなく、なわとびで自分の身体に気づいたり、友達と仲よくなったり、友達と一緒に新しい技を作り出したりなど、みなさんと一緒になわとびを楽しみながら、なわとびの魅力や教材としての価値について考えたいと思います。



◇ まとめ

11:45 ~ 12:15

▼申し込み方法

□ 参加費 7,000 円 (学生 3,500 円) (保険料を含みます)

□ info@zenhomon.jp にメールで申し込みください。(5 月 29 日 ~ 8 月 14 日)

複数人まとめても可能です。止むを得ず FAX の場合は、**03 (3818) 8026** です。

必ず、一週間以内に返信をします。

(先着順ですので、期日より前でも定員いっぱいの場合にはその旨をお伝えします。)

(パソコンメールなどの拒否設定をはずし、必ず受付番号や振込み方法等の返信をご確認ください。)

□ 申し込みの際には、以下の 3 点の記載をお願いします。

- ① 名前 (フルネーム)
- ② 都道府県及び保問研に所属の方は保問研名、学生の方はその旨、明記をお願いします。
- ③ 2 日目の分散会の希望。各々定員を設定してありますので先着順で締め切ります。

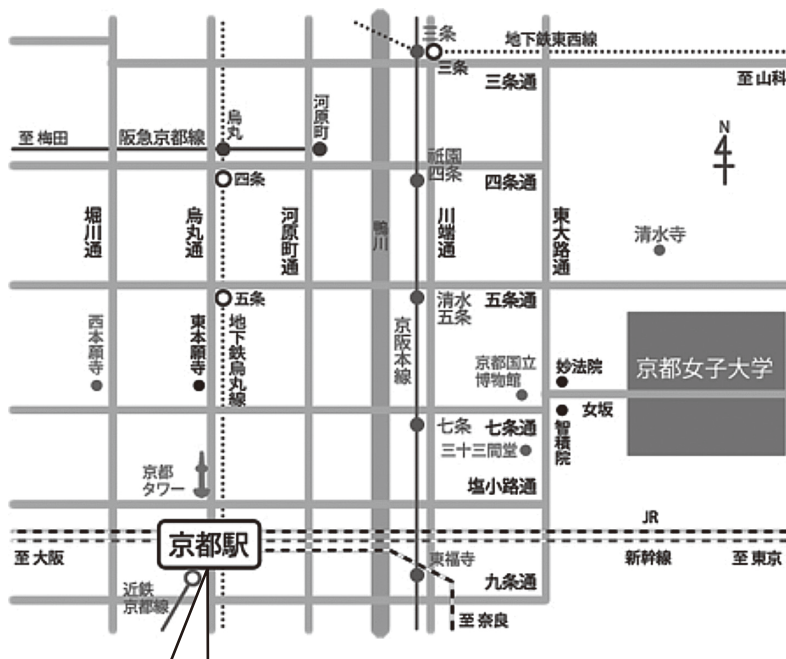
* 複数で申込の際は、代表者の連絡先名称及び電話番号 (携帯可) を記載してください。

□ 宿泊は、各自でご手配ください。

◎ 申し込みメール info@zenhomon.jp

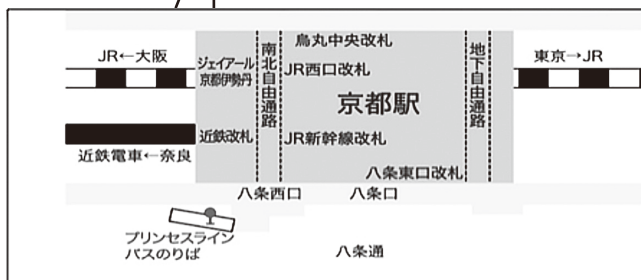
◎ 問い合わせ TEL **03 - 3818 - 8026**

□ 会場案内図



1 日目は B 校舎 501
2 日目は U 校舎です

- ・ 京都駅八条口プリンセスラインバスで約 10 分、「京都女子大学前」で下車すぐ (230 円) 。
- ・ 京都駅からタクシーが便利です。(千円弱で到着。「京都女子大学前」(「女坂」の上の正門前) で降りて頂くとすぐです)



※他にもアクセス方法あります

詳しくは京都女子大学ホームページをご参照ください。

<http://www.kyoto-wu.ac.jp/access/index.html>